



ふくしま
カーボンニュートラル
実現会議

ひとつ、ひとつ、実現する

福島県 2050年 カーボンニュートラル

～一人一人ができることから始めよう!～



地球温暖化による気候変動の影響は、自然災害の頻発化や災害級の猛暑など、
目に見える形で私たちの生活に及んでいます。

地球温暖化を食い止めるためには、まさに今、行動を起こす必要があります。

県では、2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、
「福島県二〇五〇年カーボンニュートラルの実現に向けた気候変動対策の推進に関する条例」を
令和6年(2024年)10月に制定しました。

未来の子どもたちに、安心して暮らすことのできる環境を継承するため、
一人一人が意識して、オール福島で気候変動対策に取り組みましょう!

福島大学の学生の 皆さんと一緒に考えました!

「2050年カーボンニュートラルを実現した福島県はどんな社会・暮らしになってほしいか」、その実現のために「今、何を考える必要があるか・何ができるか」を発信するための動画とイラストを作成しました。

詳細はこちら▶



＼ 2050年はこんな未来! ／



将来像イラストを制作した関あつしさん(漫才師・母心)と福島大学の学生の皆さん

問
い
合
わ
せ
先

福島県生活環境部環境共生課

電話 024-521-7813 FAX 024-521-7927

メール zero_carbon@pref.fukushima.lg.jp

条例の詳細はこちら▶

福島県 カーボンニュートラル 条例

検索

「令和6年度福島特定原子力施設地域振興交付金事業」を活用しています。

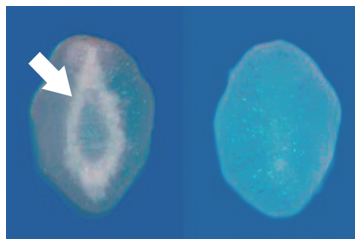


すでに発生している気候変動の影響

福島県では、令和元年東日本台風で、阿武隈川流域を中心に甚大な被害が生じました。また、令和5年(2023年)には、高温などの影響により、米を始めとする農作物の品質低下などの影響が発生しました。さらに、令和6年(2024年)の年平均気温は統計開始以降最も高い値となりました。

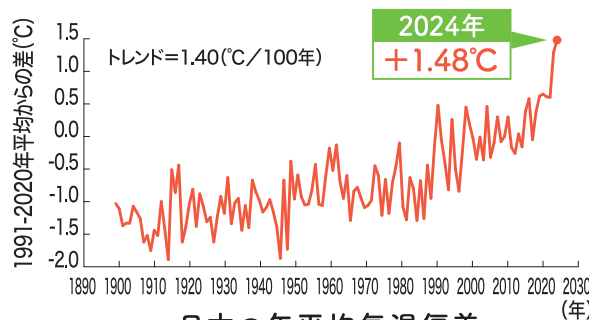


令和元年東日本台風の被害



白未熟粒(左)と正常粒(右)の断面

出典:農林水産省「令和5年地球温暖化
影響調査レポート」(提供:農研機構)



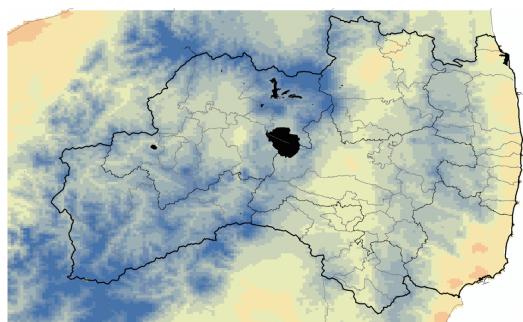
気象庁「日本の年平均気温偏差」を加工して作成

将来の福島県の気温予測 (何も対策を講じない場合)

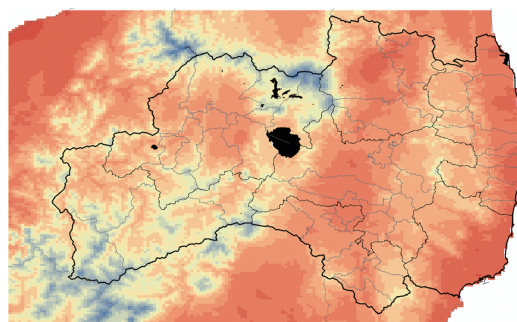
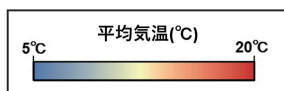
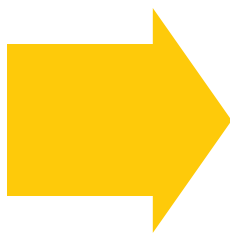
出典:福島大学「福島県の気候変動と影響の予測」(令和5年3月)

福島県内の平均気温は、温室効果ガスの削減努力がなされなければ、21世紀末ごろには、**約4.4°C上昇**※すると予測されています。

※1981~2000年を基準として



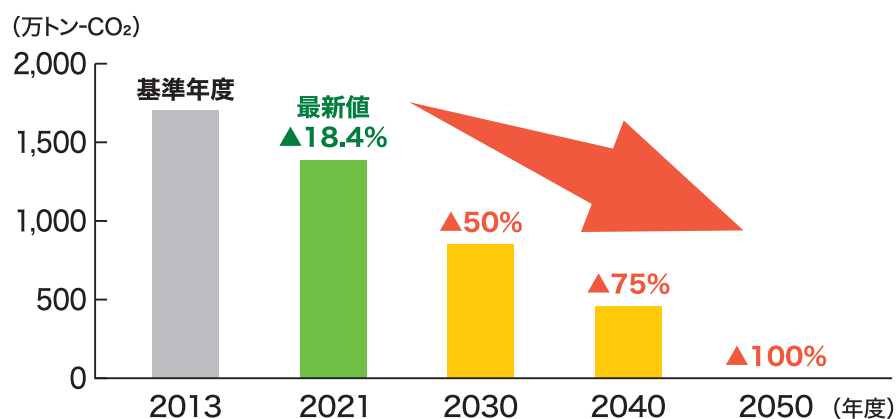
本県の基準年の気温(1981-2000年)



本県の気温上昇予測(2081-2100年)

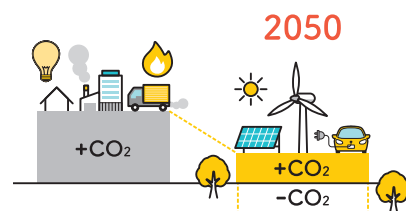
福島県の温室効果ガス排出量の削減目標

2050年までにカーボンニュートラルを実現するためには、さらなる削減努力が必要です!



「カーボンニュートラル」とは?

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。



参考:環境省「脱炭素ポータル」

カーボンニュートラルの実現に向けた具体的な取組

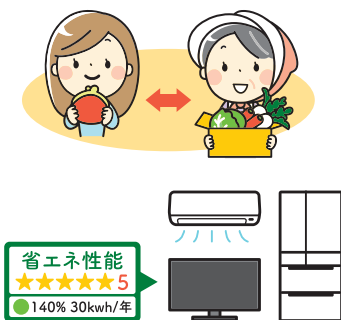
2050年カーボンニュートラルを実現するためには、省エネの徹底や再エネの利用促進などの「緩和策」と、熱中症対策を始めとした「適応策」を両輪として、オール福島でさまざまな取組を進める必要があります。

緩和策

温室効果ガスの排出量を減らす取組

日常生活

- 電気・ガス明細のチェック
- 省エネ家電の使用
- エシカル消費
- 地産地消の推進など



廃棄物

- ごみの発生の抑制
- ごみの分別、資源の再生利用など



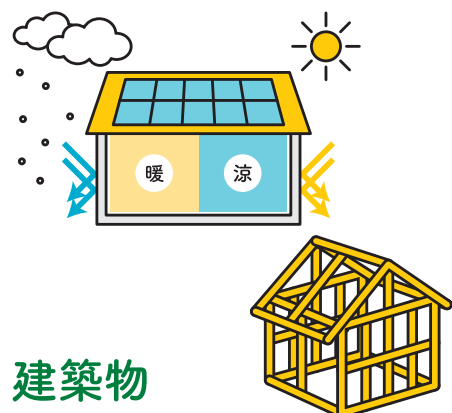
交通および自動車使用

- 公共交通機関や自転車の利用
- エコドライブの実施
- 電気自動車などの購入
- 再配達の削減など



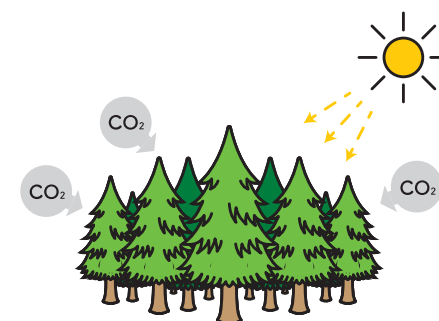
再生可能エネルギーなどの利用

- 再エネの利用促進、地産地消
- [再エネ設備などの設置者] 周辺住民の良好な生活環境の確保、自然環境の保全
- 水素の実用化の促進など



建築物

- 窓や壁の断熱化
- 太陽光発電設備の設置
- 木造化・木質化、県産材利用など



森林整備など

- 森林の整備・保全の推進
- 造林の推進
- 建築物や敷地の緑化など



事業活動

- 省エネの推進
- 働き方の転換
- 温室効果ガス排出量の見える化
- カーボン・オフセットの推進など

適応策

気候変動による影響に備える取組

- 適応策に関する情報の収集、実践など

適応7分野

- ① 農林水産業
- ② 水環境・水資源
- ③ 自然生態系
- ④ 自然災害・沿岸域
- ⑤ 健康
- ⑥ 産業・経済活動
- ⑦ 国民生活

- 重点的事項



1 農林水産業
品種改良、栽培技術の開発など食糧供給の確保



4 自然災害・沿岸域
自然災害による被害の防止・軽減



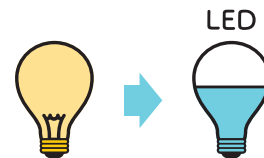
5 健康
熱中症、感染症など病気の予防

実はこんなに“お得”なんです！

～カーボンニュートラルの実現に向けた暮らしの工夫～

カーボンニュートラルにつながる脱炭素型ライフスタイル。実は「お金の節約」や「快適・便利な生活」にもつながるんです。ひとつひとつ、できることから、はじめてみませんか？

LED照明への切り替え



CO₂削減効果
約30kg/世帯・年

節約額
約2,900円/年

- 蛍光灯と同じ明るさで消費電力が小さい
- 取替の回数は蛍光灯の1/7

省エネ家電への買い替え



CO₂削減効果
約180kg/台・年

節約額
約19,000円/年

- 省エネ性能の高い冷蔵庫・エアコンに買い替えた場合
- 便利機能付きで快適な生活

クールビズ、ウォームビズ

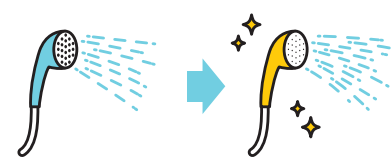


CO₂削減効果
約40kg/世帯・年

節約額
約3,900円/年

- 服装の工夫により冷暖房を適切な室温に設定
- 機能性素材を用いた快適な服装で効率もアップ

節水

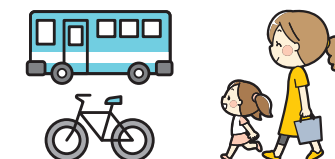


CO₂削減効果
約100kg/世帯・年

節約額
約15,600円/年

- 節水型シャワーヘッド、アダプタ、洗濯機、トイレの導入で水道代・ガス代がお得に

公共交通機関・自転車などの活用



CO₂削減効果
約160kg/人・年

節約額
約12,000円/年

- 近距離移動は自動車から徒歩・自転車に切り替え
- 移動手段の見直しで健康増進

エコドライブ



CO₂削減効果
約120kg/台・年

節約額
約9,000円/年

- ふんわりアクセル、加減速の少ない運転を実施
- 速度や車間距離を自動で保つアシスト機能で楽して快適・安全

ごみの削減、分別・3R



CO₂削減効果
約30kg/世帯・年

節約額
約3,800円/年

- 有料ゴミ袋の使用量削減、マイボトル活用で節約
- 資源回収でポイントがもらえる場合も

食品ロス削減

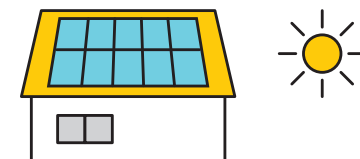


CO₂削減効果
約5.4kg/世帯・年

節約額
約8,900円/年

- 買い過ぎ等の防止により食品ロスを削減
- アプリを介して余った食品をお得に調達、献立の紹介も活用

太陽光発電設備の設置



CO₂削減効果
約920kg/世帯・年

節約額
約53,000円/年

- 初期費用無しの0円ソーラーと余剰電力の売電でお得
- 大規模災害時にも電気が使える

若者世代が思い描く「カーボンニュートラルが実現した未来」

私たちの暮らしの中で、省エネの徹底や再エネ・水素の利用、自然災害への備えなどが当たり前になっている2050年の福島県をイメージしたものです。

